

2012年2月6日

## 住友化学、シンガポールにおいて S-SBR 製造プラントの起工式を開催

住友化学は、グループ会社である住友化学アジアがシンガポールにおいて建設する、溶液重合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)製造プラントの起工式および祝賀レセプションを2月6日に開催いたしました。

起工式は現地時間10時より、シンガポール経済開発庁(EDB) ユージン・リオン(Eugene Leong)副ディレクター、およびジュロンタウン公社(JTC) ヒア・スーン・ポー(Heah Soon Poh)ディレクターなどのご列席のもと、建設地であるジュロン島で挙行されました。

また、午後から市内のホテルにて、リム・フン・キアン(Lim Hng Kiang)通産大臣、鈴木庸一在シンガポール日本国特命全権大使、レオ・イップ(Leo Yip) EDB 長官、マノハー・カタールニ(Manohar Khiatani) JTC CEO やプラント建設会社などのご関係者をお迎えし、祝賀レセプションが盛大に執り行われました。

S-SBR は、世界的に自動車燃費規制が強化される中で、高性能省燃費タイヤ用の原料として需要が急速に拡大しております。当社は、中でも成長著しいアジア市場における供給上の地理的優位性や、原料ブタジエンの安定的な確保、当社グループの既存事業との連携といった観点から、シンガポールにおいて S-SBR 製造プラントを建設することを2010年11月に決定し、建設用地の埋め立てが完了した2012年1月に着工しました。設備の完成は2013年6月、商業運転開始は2013年第4四半期を予定しています。また、将来さらなる需要の増加が見込まれることから、第2期計画の検討も進めています。

独自の製造プロセス技術と高性能化のカギとなるポリマー変性技術を活かしたグレード開発により、当社の S-SBR は高い省燃費性と耐磨耗性を有する優れたタイヤ材料として、顧客である国内外のタイヤメーカーから高い評価を頂いております。国内に保有する年産1万トンの既設プラント、ならびに今後の拡張計画と合わせ、当事業のグローバル展開をより一層推進してまいりたいと考えております。

### < S-SBR 製造プラントの概要 >

- ・ 立地場所 : シンガポール ジュロン島内 メルバウ地区
- ・ 生産能力 : 年産4万トン
- ・ 生産品目 : 高性能省燃費タイヤ用スチレンブタジエンゴム
- ・ 製 法 : 溶液重合法
- ・ 稼動予定 : 2013年第4四半期 商業運転開始

### < 住友化学アジアの概要 >

- ・ 社 名 : Sumitomo Chemical Asia PTE LTD
- ・ 設 立 : 1990年7月
- ・ 資本金 : 120百万USドル
- ・ 出資比率 : 住友化学100%
- ・ 社 長 : 石川 浩通
- ・ 事業内容 : 石油化学製品の製造および販売

以上